

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震で亡くなられた皆様に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この調査報告書は、当協会の東北地方太平洋沖地震緊急対策本部地震被災状況調査WG（主査：財団法人日本住宅・木材技術センター 理事・試験研究所長 岡田恒）が取りまとめ作成したものです。

今回の調査は、今まで国内で発生した兵庫県南部地震\*1や新潟県中越地震\*2などの大地震に際して当協会が実施してきた一連の調査研究の延長線上に位置づけられるものです。

枠組壁工法住宅は、過去の大地震の被害状況の調査結果から、耐震性に優れていることが実証されており、未曾有の被害を広範囲に及ぼした東日本大震災においても同様なことが言えるのかが会員会社の皆様や居住者を含む一般の方々の関心のあるところです。

当協会では、地震発生直後に正副会長会議を開いて東北地方太平洋沖地震緊急対策本部を設置するとともに、応急仮設住宅建設 WG を立ち上げました。その後、会員の協力のもと現地において調査の受け入れが可能となった4月末に現地調査団（団長：工学院大学建築学部建築学科 教授 河合直人）を編成し調査を実施しました。5月末には調査に参加した技術委員を中心に地震被災状況調査 WG を立ち上げ、当該地震におけるツーバイフォー住宅被害状況についての現地調査の取りまとめ結果および会員アンケート調査の結果に基づき、地震・津波等がツーバイフォー住宅の諸性能に及ぼした影響について確認し、また、統一的な補修法の提案及び新築住宅を設計する際の設計基準等をまとめるための活動を行いました。

本調査報告書は、調査対象物件に関する情報を提供いただいたお施主様および会員会社の協力によるものであり、心からお礼を申し上げます。

2011年8月

社団法人日本ツーバイフォー建築協会  
東北地方太平洋沖地震緊急対策本部長  
池田 富士郎

\*1 兵庫県南部地震被災状況調査結果

[http://www.2x4assoc.or.jp/builder/act/chosa/chosa\\_hanshin19950601.html](http://www.2x4assoc.or.jp/builder/act/chosa/chosa_hanshin19950601.html)

\*2 新潟県中越地震被災状況調査結果

[http://www.2x4assoc.or.jp/builder/act/chosa/chosa\\_niigata20050113.html](http://www.2x4assoc.or.jp/builder/act/chosa/chosa_niigata20050113.html)